

B

2026(令和8)年度入学試験 国一B一問

国 語

解答方法について

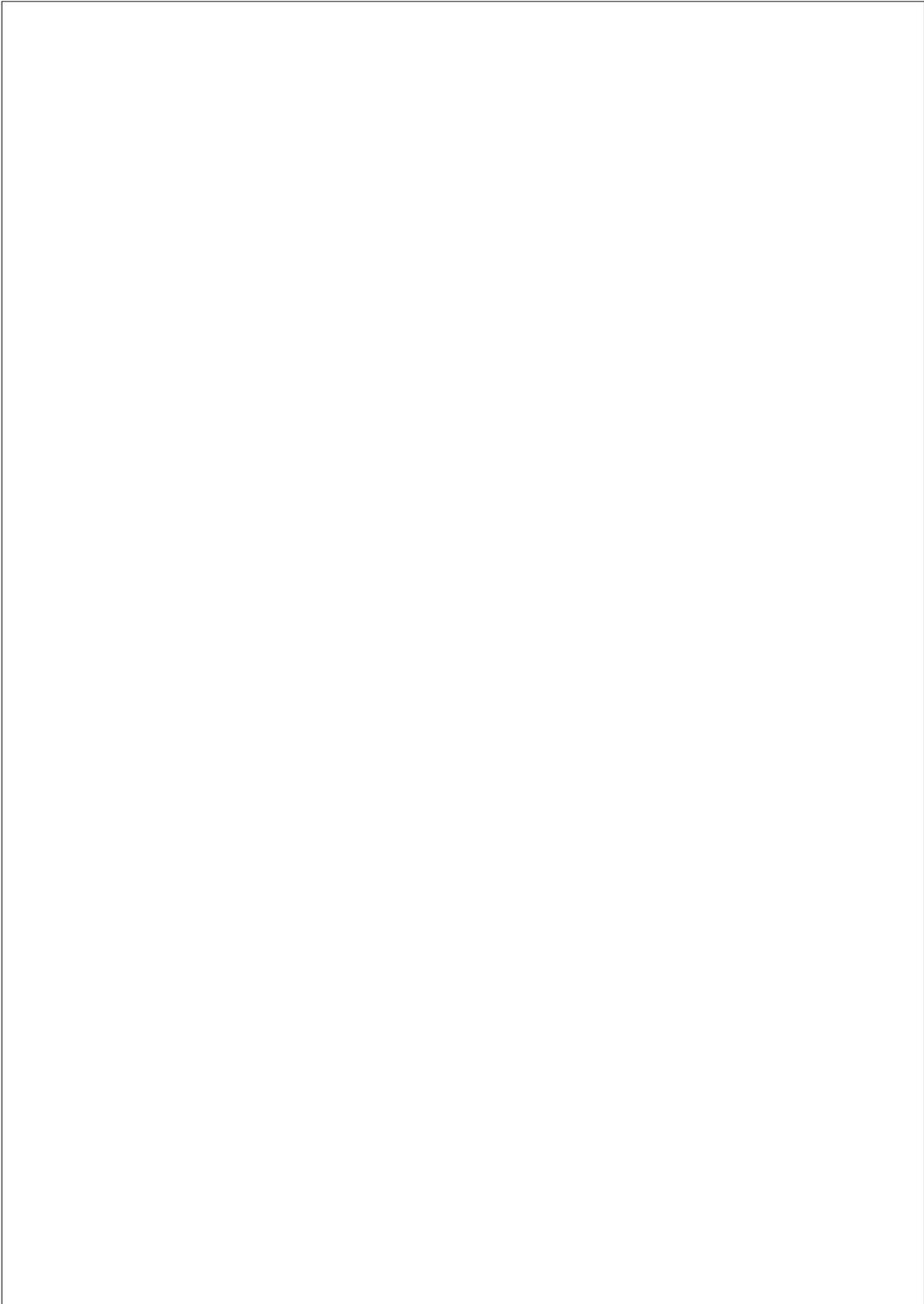
1. 問題〔一. (現代文)〕, 〔二. (現代文)〕は, 全員が解答すること。
2. 問題〔三. (古文)〕及び問題〔四. (漢文)〕は, いずれか一方のみを選択して解答すること。
3. 記述式解答用紙は, マークシート解答用紙の「古文」および「漢文」のマーク欄でマークした方を採点します。

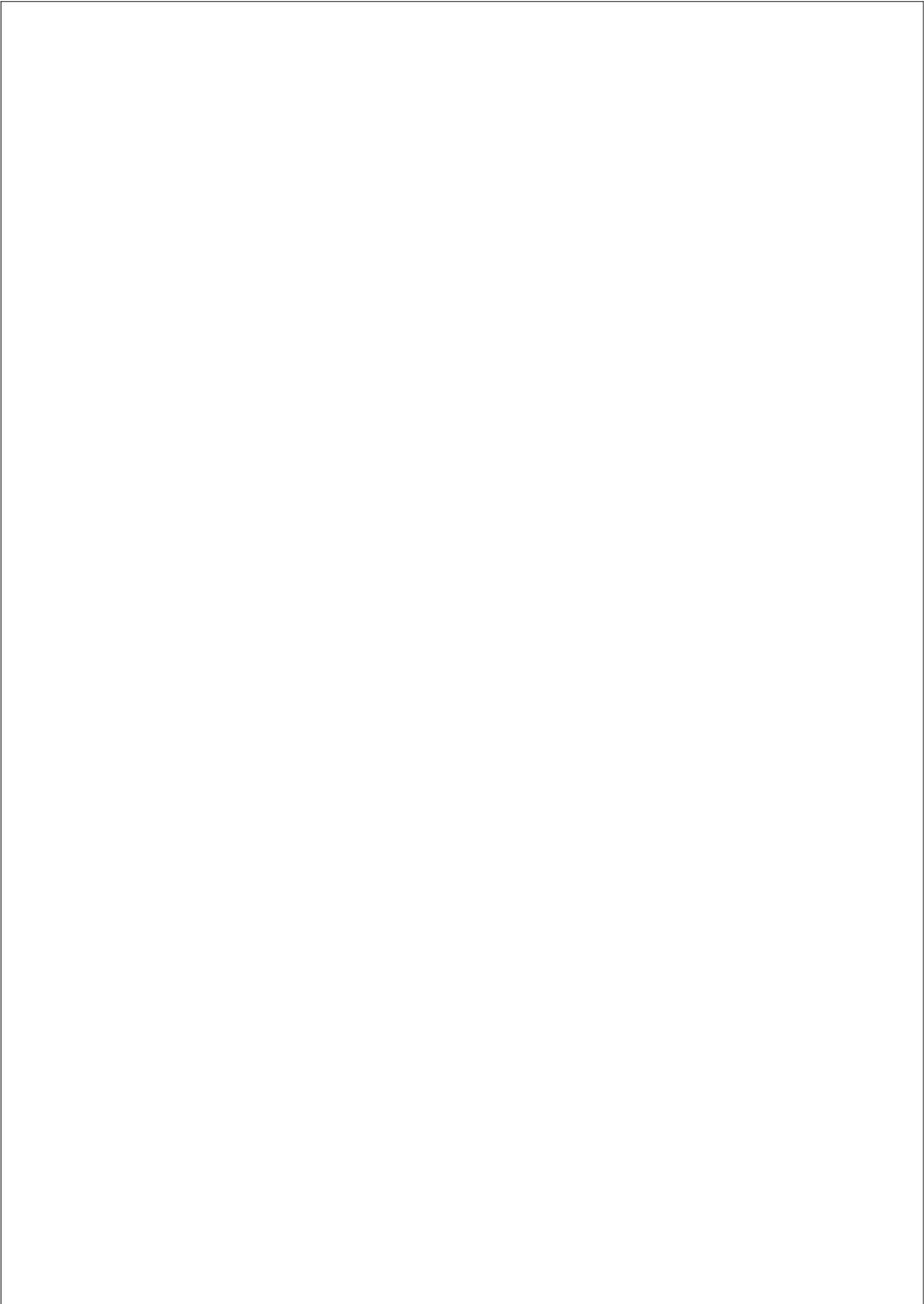
(注意: 解答はすべて所定の解答用紙に記入すること)

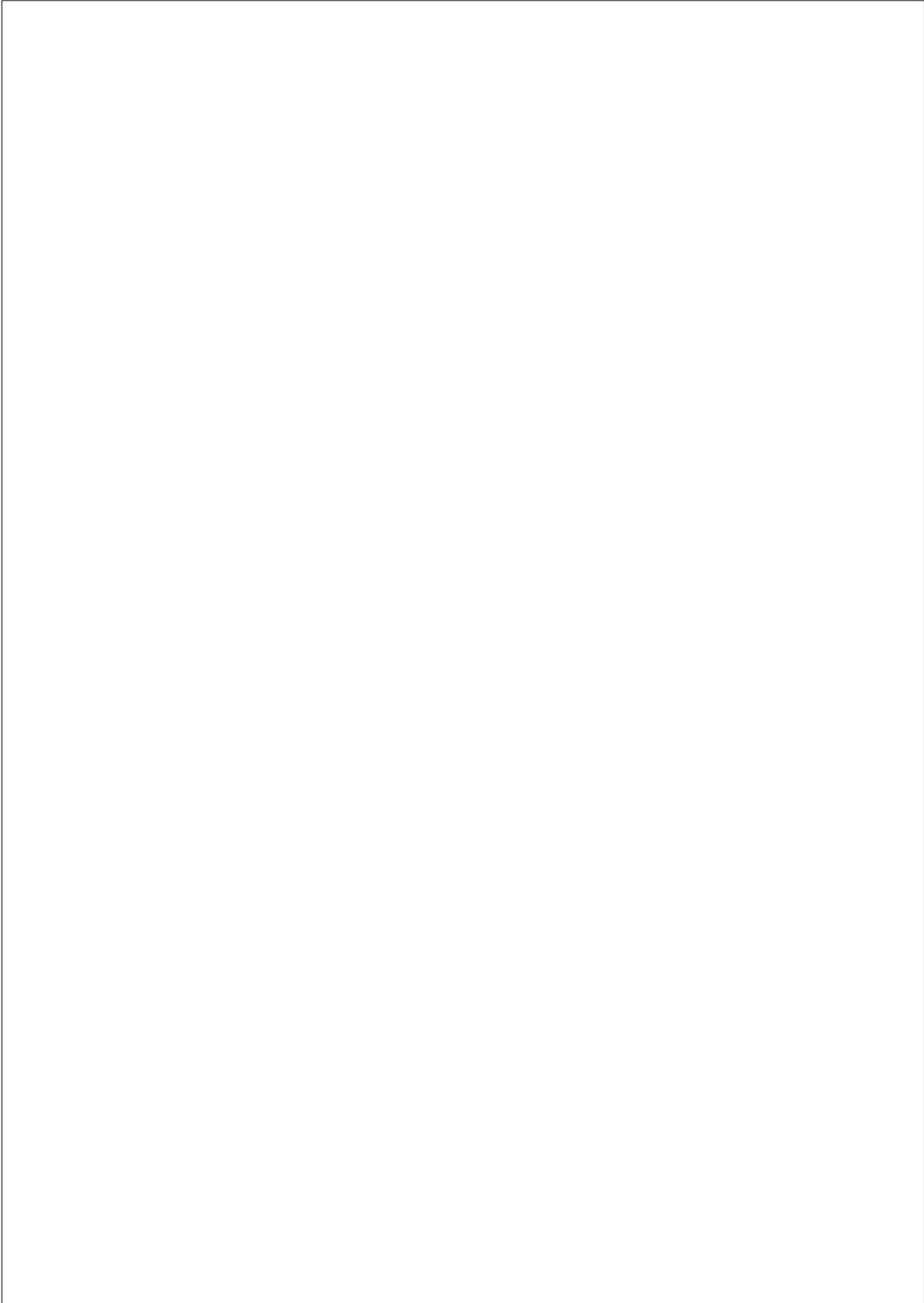
1. この問題冊子は, 25 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明, ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は, 手を高く挙げて監督者に知らせてください。
2. 設問中, 「番号をマークせよ」と指示されている場合は**マークシート解答用紙**
数学以外共通 に, 指示がない場合は記述式解答用紙に記入すること。
マークシート解答用紙の記入にあたっては, 次の点に注意すること。
 - ① マークはHB, 又はBの鉛筆(シャープペンシル可)を使うこと。ボールペン, サインペン等はたとえ黒であっても使用しないこと。
 - ② マークシート解答用紙は電算機にかけるので, 折りまげたり汚したりしないこと。
 - ③ 間違ってマークした場合は, 消しゴムできれいに消してからマークしなおすこと。
 - ④ マークは次に示すように枠内を黒く塗りつぶすこと。
※ マークのつけ方の正しい例 (3 を解答する場合)
① ② ● ④
※ マークのつけ方の悪い例
~~①~~ ~~②~~ ~~③~~ ~~④~~
3. マークシート解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので, それぞれ正しく記入すること。正しく記入されていない場合, 又は正しくマークされていない場合は, 採点できないことや0点になることがあります。
 - ① 受験科目欄: 「国語」にマークすること。また, 「古文」および「漢文」のうち解答するいずれか一方をマークすること。
 - ② 氏 名 欄: 氏名・フリガナを記入すること。
 - ③ 座席番号欄: 座席番号を記入し, さらにその下のマーク欄にマークすること。

〔一〕 次の文章は、小説家・宇野浩二（一八九一～一九六二）のデビュー作『蔵の中』（大正八年）について論じたものである。これを読み、あとの設問に答えよ。ただし、本文中の（ ）は『蔵の中』などからの引用文を表し、本文の一部を改変・省略してある。

大問〔一〕の問題文は著作権上の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。







(注)

- 1 広津和郎——宇野浩二と親交のあった日本の小説家・評論家(二八九一～一九六八)。代表作『神経病時代』。
- 2 モノローグ——独白のこと。
- 3 水上勉——宇野浩二に師事した日本の小説家(一九一九～二〇〇四)。代表作『雁の寺』。
- 4 林芙美子——大正末期～昭和中期に活躍した日本の小説家(一九〇三～一九五二)。代表作『放浪記』。
- 5 『盲目物語』——谷崎潤一郎(一八八六～一九六五)が一九三一年に発表した小説。織田信長の妹お市の方に仕えた盲目の按摩師がその思い出を語ったもの。
- 6 銅拍子もない——調子が外れていること。普通は「突拍子もない」と表記。
- 7 宇宙蛇——宇宙をあらわす古代の象徴の一つで、己の尾を噛んで環になった蛇を図案化したもの。

問一 傍線部(ア)・(イ)のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部(ウ)の漢字の読みをひらがなで記せ。

問三 空欄 A に入る最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は①。

- 1 きわめて難解な
- 2 世評が好意的な
- 3 どちらかと言うと凡庸な
- 4 一種風変わりな
- 5 やや時代遅れな

問四 傍線部①「人を喰った」、④「典型」の意味として最も適当なものを、次のなかからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。解答番号は、①は②、④は③。

- ① 人を喰った
- 1 相手を威圧した
 - 2 相手を小ばかにした
 - 3 相手としつくりいかない
 - 4 相手の事情にお構いなく
 - 5 相手に弁解の余地を与えない

- ④ 典型
- 1 同じ種類のものの中で、その特色がごく平均的であるもの
 - 2 同じ種類のものの中で、その特色が最もすぐれているもの
 - 3 同じ種類のものの中で、その特色を一番よくあらわすもの
 - 4 同じ種類のものの中で、その特色があまり目立たないもの
 - 5 同じ種類のものの中で、その特色が際立って特殊であるもの

問五 傍線部②について、筆者の考える『蔵の中』の新しさの説明として適当でないものを、次のなかから二つを選び、その番号をマークせよ(順不同)。解答番号は、4と5。

- 1 一枚一枚の着物あるいは蒲団にまつわる「私」の女性をめぐる様々な経験談を、「私」のモノローグで語っている点。
- 2 決して直線的に進行せず、脇へ脇へとずれてゆくというアマダクジ式の迷路のようなモノローグで語られている点。
- 3 「当人のしゃべるように書くんですよ」という宇野浩二本人の言葉通り、意識的な饒舌体によって書かれている点。
- 4 もっとも単純で、もっとも意味のない接続詞といってもよい「そして」で、いきなり書き始められている点。
- 5 最初からストーリーのある小説など書くこととはしておらず、むしろその破壊を試みている点。
- 6 質入れた着物を、虫干ししながら眺めることを楽しみとする「私」の、夢ともうつつとも言えない日常の物語を描いている点。

問六 傍線部③「この『そして』が『蔵の中』において担う機能について、筆者の考えをまとめた箇所を、解答欄に合う形で本文中から三十五字〜四十字以内で抜き出し、その最初と最後の四字を記せ。

問七 傍線部⑤「谷崎潤一郎」の作品を、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は6。

- 1 細雪
- 2 河童
- 3 和解
- 4 斜陽
- 5 潮騒

問八 次の一文を挿入するのに最も適当な箇所を、本文中の I ～ V のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は 7。

大問(二)の問題文は著作権上の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

1

I

2

II

3

III

4

IV

5

V

問九 傍線部⑥「アミダクジ式の話法」に最も関連する『蔵の中』の引用文を、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。
解答番号は⑧。

- 1 私は質屋に行かうと思ひ立ちました。
- 2 私が質屋に行かうといふのは、質物を出しに行かうといふものではありません。
- 3 私は今質に入れる一枚の着物も一つの品物も持たないのです。
- 4 そればかりか、現に今私が身につけてゐる着物まで質物になつてゐるのです。
- 5 話が前後して、たびたび枝路にはひるのを許していただきたい。

問十 空欄

B

に入る最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑨。

- 1 以心伝心の
- 2 五里霧中の
- 3 首尾一貫した
- 4 初志貫徹した
- 5 荒唐無稽な

問十一

本文の内容と最も合致するものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑩。

- 1 広津和郎は、『蔵の中』による宇野浩二のデビューぶりについて、新進作家らしい初々しさのないその作風に対して、強い反感を覚えたと同想している。
- 2 水上勉は、「喋るように」書かれた『蔵の中』の「私」の饒舌体に、読者を迷路に誘い込むような「いまいましさを覚えつつも、その魅力を評価している。
- 3 筆者は、けっして直線的に進行せず、脇へ脇へとズレてゆく『蔵の中』の饒舌体には、谷崎潤一郎の『盲目物語』と共通する語りの特徴があると考えている。
- 4 筆者は、『蔵の中』に描かれた現実的な時間が、質屋の蔵の中で着物の虫干しをしながら居眠りをする「三日間」である点に、物足らなさを覚えている。
- 5 筆者は、もっとも意味のない接続語である「そして」で書き始められたことにより、『蔵の中』は意味のない小説となることが決定されたと批判している。

〔一〕 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。ただし、本文の一部を省略してある。

日本の大都市は、鉄道システムを基礎にして都市構造や都市生活が組み立てられている。街は駅をコアとして形作られることが多く、都市は路線のネットワークとして広がり、日常生活は鉄道の定時運行を前提にして組み立てられる。たとえば、日本の大都市の不動産は「駅から何分」「都心まで何分」という時間的な距離で評価されることが多い。駅を中心にして街が構成され、多くの人びとが電車通勤をしていることを前提としているためだろう。一方、定時運行がうまく働かなければ、学校・職場に行けない、家に帰れない、待ち人に会えない、予定が狂うといった事態になりかねない。「時間の秩序」として構成された近代都市だが、日本では鉄道の定時運行がそのかなめを担っているのである。(略)

日本の大都市が「鉄道都市」として歴史的に形成されてきた背景には、私鉄による「郊外開発と郊外鉄道の計画的・一体的整備」(矢島隆「比類無きトランジット・メトロポリス東京」…41頁)がある。関西では箕面有馬電気軌道(現・阪急)^(注1)の小林一三^(注2)が先鞭^{べん}をつけ、関東では渋沢栄一が構想し、田園都市株式会社(現・東急)^(注3)などが進めたことで知られている。こうした鉄道と一体化した都市整備は、各私鉄の鉄道事業や都市開発のモデルとなった。公的セクターも、私鉄の都市開発を支援しつつ、住宅・都市整備公団や東京都住宅供給公社などを通して、みずから大規模なニュータウン開発をおこなっている。この都市開発と鉄道事業の緊密な連携によって、「都心で働き、郊外で生活し、鉄道でそのあいだを通勤する」という都市生活のフォーマットが日本の大都市で広がったのである。

東京・名古屋・大阪などで生活しているとあたりまえのように思えるが、他の都市ではそうではない。A、パリ都市圏では都心の内部で働き、生活する割合も高い。ニューヨーク都市圏では自動車の割合が圧倒的であったことはすでにみたが、日本の地方都市においても同様にモータリゼーションが進んでいる。分割・民営化以降、JRで継続的に黒字を続けているのは東日本・東海・西日本であるように、鉄道経営が安定して成立するのは日本の大都市圏であるといえるだろう。とりわけ新幹線を軸線とした東海道メガロポリスとよばれる「東京、名古屋、京阪神の三大都市はコンパクトな都市構造を有し、鉄

道が都市交通システムの主役の座を占めている（斎藤峻彦『鉄道政策の改革』成山堂書店、2019年…3頁）。そうした大きな偏りはあるものの、日本社会における鉄道が担う旅客輸送の割合の高さや一人当たりの鉄道利用料の高さは世界的にも際立っており、「鉄道大国・日本」ともいわれる（斎藤峻彦『鉄道政策の改革』…11―12頁）。

B 日本の大都市では戦前期から鉄道事業と都市開発が一体化し、現在でも電車通勤を前提にした都市生活が組み立てられている。そのため、「郊外⇄電車⇄都心」以外の選択肢——他の都市でよくある「郊外⇄自動車⇄都心」や「都心（自転車・徒歩）」など——が生活スタイルとして想像しにくい。この定住と移動のパターンの選択しがたさ——つまり電車通勤以外を想像しにくいこと——は、電車での苛立ちの感覚や鉄道マナーがくりかえし語られる構造的な背景になっている。日本社会——とりわけ大都市——において鉄道が「社会の縮図」として語られやすいのは、他の交通手段に比してプレゼンスが高いためでもあるだろう。

大都市の鉄道網は空間的な構造としてセットされているだけではない。広範囲に生活する大量の人びとが同期的に連携するための時間的な構造を支えているのは、日本の鉄道システムの正確かつ、綿密な「定時運行」である。日本の大都市における定時運行は、大正期に発達したとされる。当時、急激な都市化と産業化によって輸送需要が増大したが、第一次世界大戦によって物資が不足していたため、稠密^(注5)な定時運行によって使用効率を高める必要があった。そのため、列車計画の進歩、運転指令の強化、指令電話の増強、機関車乗務員の技術の向上などを通じて、世界でもトツシユツした定時運行が実現した（三戸祐子『定刻発車』中公文庫、2005年）。

C、定時運行があたりまえになって、それをあてにするようになると、すこし電車が遅れるだけでモヤモヤ、イライラすることにもなる。

定時運行は、鉄道事業者の労働強化や技術開発によってのみ維持されているわけではない。鉄道利用者たちがみずから効率的に動き、車内秩序を維持できなければ、その実現はおぼつかないだろう。鉄道利用者のいさかい、まちがい、もたつきなどのトラブルが頻発⁽¹⁾すれば、鉄道の正確な運行は乱れることになる。鉄道事業者のみならず、見知らぬ他者同士であるはずの鉄道利用者たちの連携や協力によっても鉄道の運行は維持されている。

実際、2017年度の国土交通省の調査によれば、10分未満の遅延のうち63%は「利用マナーにキーンする」とされている。^(ウ)遅延で不機嫌になると、他人のマナーがより気になるし、マナーでトラブルになれば、遅延の原因になってしまう……そう考えると、またストレスが高まっていく——そんな悪循環が発生することもあるかもしれない。たかが10分未満のこと、定時運行にそれほど期待をもたなければいっそ気楽だろう。だが、右記のような調査が報道されるほど定時運行を重要視する社会においては、自分だけがそのように思ってもどうにもならないし、せわしない都市生活ではなかなか難しい。

鉄道システムが構築する日本の大都市の時間的・空間的な秩序は、それを利用する人びとのアクションやコミュニケーションによっても左右される。だとすれば、^③「鉄道利用者を秩序付ける『規範』は、日本の『穏やかな電車』、およびそれを前提とした都市生活を支えていることになる。その一方で、電車で経験する私たちのストレスやフラストレーションもまた、そうした日本的な『鉄道都市』のなかで発生している。近代社会に共通する『通勤』だが、日本の鉄道にはとりわけ独特の秩序が存在しているとされてもきた。だからこそ、駅構内や車内でのふるまいかた、見知らぬ他者とのつきあいかたは——交通道徳、エチケット、マナーなどと表現された——『規範』の問題として議論され、そこに幾度も『社会』(の縮図)が見出されてきたのだろう。そして、そうした『規範』をめぐって、いざこざやトラブルもあとを絶たなかつた。^④

ただし、^⑤「規範はそうしたネガティブな帰結をもたらすだけではない。規範に対する私たちのモヤモヤやイライラこそが、電車の秩序維持のセンサー(Sensor)の一部となつているとすればどうだろうか。そうだとすれば、電車における私たちの感覚(Sense)の^(エ)機微とその細やかなコントロールは、鉄道システムの安定的な運行、そしてそれを前提とした都市構造の継続的な構成と維持に寄与していることになる。『鉄道都市』への過剰適応ともいえるが、そうした規範が維持されている限りにおいて、他人同士が静かに共存できる秩序を形作っているともいえる。その意味で、『穏やかな電車』は、気遣いの綱の目(人びとのマナーセンサーのネットワーク)に包まれることによつて維持されている。こういつてよければ、ほんやりできるのんきな日本の電車の空気は、人びとのモヤモヤ・イライラと表裏^⑥一体の関係にある。

(田中大介『電車で怒られた!——「社会の縮図」としての鉄道マナー史』)

(注) 1 阪急——阪急電鉄株式会社。日本の大手私鉄のひとつ。

2 小林一三——日本の実業家・政治家(一八七三—一九五七)。

3 渋沢栄一——日本の実業家・慈善家(一八四〇—一九三二)。

4 東急——東急電鉄株式会社。日本の大手私鉄のひとつ。

5 稠密(ちゆうみつ)——ひとつのところに多く集まって、混みあっているさま。

問一 傍線部(ア)・(ウ)のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部(イ)・(エ)の読みをひらがなで記せ。

問三 空欄 A・B・C に入る組み合わせとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は□。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| 1 | A | こうして | B | たとえば | C | ただし |
| 2 | A | ただし | B | こうして | C | たとえば |
| 3 | A | たとえば | B | こうして | C | ただし |
| 4 | A | ただし | B | たとえば | C | こうして |
| 5 | A | たとえば | B | ただし | C | こうして |

問四 傍線部①「定時運行がうまく働かなければ」とあるが、定時運行がうまく働かなくなると、いかなる事態が生じるか。最も

も適当な箇所を、解答欄に合う形で、本文中から二十字以上二十四字以内でそのまま抜き出せ。

問五 傍線部②「大きな偏り」の説明として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は

12。

- 1 通勤のモーターゼーションは、日本の地方都市に比してニューヨーク都市圏やパリ都市圏において進んでいる。
- 2 他の交通手段に比べたときの自動車のプレゼンスは、日本では地方都市に比して大都市圏において高くなっている。
- 3 通勤における自転車・徒歩移動のプレゼンスは、日本の大都市圏に比してパリ都市圏において高くなっている。
- 4 他の交通手段に比べたときの鉄道のプレゼンスは、日本では地方都市に比して大都市圏において高くなっている。
- 5 通勤時の一人当たり鉄道利用料は、日本の都市に比してニューヨーク都市圏やパリ都市圏において高くなっている。

問六 傍線部③「鉄道利用者を秩序付ける「規範」は、日本の「穏やかな電車」、およびそれを前提とした都市生活を支えている」と

と言えるのはなぜか。理由として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は13。

- 1 日本の都市生活を支えている定時運行は、鉄道利用者が交通道徳を共有し、多少の遅延ではイライラしないようにすることで、実現されているから。
- 2 日本の都市生活を支えている定時運行は、鉄道事業者と鉄道利用者が連携・協力し、見知らぬ他者にマナーを守らせらることで、実現されているから。
- 3 日本の都市生活を支えている定時運行は、鉄道利用者が鉄道事業者に配慮し、定時運行に過度な期待をもたないようにすることで、実現されているから。
- 4 日本の都市生活を支えている定時運行は、見知らぬ他者同士である鉄道利用者がマナーを守り、車内秩序が維持されることで、実現されているから。
- 5 日本の都市生活を支えている定時運行は、鉄道を「社会の縮図」とみなし、マナーの啓発に勤しむ鉄道事業者の努力によって、実現されているから。

問七 傍線部④「あとを絶たなかった」、⑥「表裏一体」の意味として最も適当なものを、次のなかからそれぞれ一つずつ選び、

その番号をマークせよ。解答番号は、④は14、⑥は15。

④ あとを絶たなかった

- 1 必然的に発生し続けてきた
- 2 同時多発的に発生してきた
- 3 発生する場合もあった
- 4 発生するのを防げなかった
- 5 頻繁に発生し続けてきた

⑥ 表裏一体

- 1 一見すると対になっているものが実は独立している
- 2 一見すると対立するものが実は密接に結びついている
- 3 一見しただけでは区別がつかないほど似通っている
- 4 一見すると別物のように見えるがいずれは一体化する
- 5 一見すると同じように見えるものが実は対立している

問八 傍線部⑤「規範はそうしたネガティブな帰結をもたらすだけではない」の説明として最も適当なものを、次のなかから一

つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑬。

- 1 マナーをめぐる人びとのモヤモヤやイライラと不可分の関係にある気遣いの網の目は、鉄道を利用する私たちの感覚の機微とその細やかなコントロールを可能にしているということ。
- 2 電車内での見知らぬ他者との付き合い方が秩序維持のセンサーとして規範化されてきたことは、鉄道システムの安定的な運行とそれを前提とする都市構造を維持しているということ。
- 3 マナーをめぐってモヤモヤやイライラを感じる鉄道利用者の感覚は、鉄道を利用する他人同士が静かに共存できる状態を維持するためのセンサーとしての役割も果たしているということ。
- 4 鉄道を利用する見知らぬ他者との付き合い方が「規範」の問題として議論されてきたことは、人びとの「鉄道都市」への過剰適応と「穏やかな電車」の実現に寄与しているということ。
- 5 マナーをめぐってモヤモヤやイライラを感じないように鉄道利用者がみずからの感覚をコントロールすることは、ほんやりできるのんきな日本の電車の空気を形作っているということ。

問九 本文の内容と合致しないものとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は

17。

- 1 日本の大都市における都市構造や都市生活が鉄道システムを基礎に組み立てられているのは、日本の大都市が鉄道事業と緊密に連携した都市開発のもとで形成されてきたことによる。
- 2 私鉄による郊外開発と郊外鉄道の計画的・一体的整備が進められてきたのは、日本の大都市圏がコンパクトな都市構造を有し、鉄道経営が安定して成立する条件を備えていたことによる。
- 3 日本の大都市において鉄道が「社会の縮図」として語られやすいのは、電車通勤を前提にした生活スタイルが主流であり、他の交通手段に比して鉄道のプレゼンスが高いことによる。
- 4 日本の鉄道システムの定時運行が大正期に発達したのは、第一次世界大戦下の物資不足のなかで急激な都市化・産業化にともなう輸送需要の増大に応える必要が生じたことによる。
- 5 日本の鉄道利用者がほんの少しの電車の遅れに対してもモヤモヤ・イライラするのは、正確かつ綿密な定時運行があたりまえになり、人びとがそれをあてにするようになったことによる。

〔三〕

次の文章は『狭衣物語』の一部で、狭衣が一品の宮と結婚したのちに行方知れずになっていた飛鳥井の姫君（飛鳥井との子）とめぐりあった箇所である。これを読み、あとの設問に答えよ。

姫君をかき抱きて、こなたに入れたまひぬ。

狭衣（注1）忍ぶ草見るに心は慰まで忘れがたみに漏る涙かな

押し当てて、いみじう泣きたまふを、あやしう恥づかしと思ひたるものから、うち泣きなどもせず、顔うち赤み、汗うちあえて、いかにぞや思へる **A** など、かばかりのほどながら、いとかく似たりけりと、あはれさ限りなし。

狭衣（ア）「な恥ぢたまひそよ。いみじう思ふべき人ぞ。こなたに常に渡りたまへ。」

B 遊び物取りて参らむ」とのたまへ

ば、うちうなづきたまふも、あはれなるにぞ、思はずに思さるる御あたりも、いかがはせむ。年月（注2）行方もなくなしつる人を、かばかり見るにまさることは、何事かはあらむ、かからざらましかば、いかにか見まし、今はただ、この人に慰めて、長らふべきにこそはと、こよなく慰められたまひけり。

もるともに添ひ臥して、狭衣「雛（注3）や持ちたまへりや。恥ぢたまはで、こなたに遊びたまはば、いみじう作りて奉りてむかし。若宮の多く持ちたまへる遊び物ども、取りて奉らむ」などのたまひて、さまざま **B** 絵など描きつつ奉りたまへば、もとよりいとなつかしき御心にて、うち笑ひ、物などのたまへるも、あさましきまで写し取りたまへるは、なかなかなる

御心惑はしなり。誰も誰も、いとあなづらはしう思へらむに、かくとや、宮（注4）（一品の宮）に聞こえてましと思せど、物語もうち解けて、ふとはえ聞こえにくげなる御ありさまなれば、何かは、今さらずとも、かくてあらば、いとよくもてなしてむと思すを、女なるしも、かくものげなきさまにあり初めけむ、口惜しけれ、いま少し人も聞かむに、さるべきわたりになかりけむ、

③ 蔭の小草にしも生ひ初めけむよなど、数ならず思し出づるにも、いとど昔の秋恋しうなりたまふ。よろづ、ただかやうの方に思ふこと叶（注5）はざりける宿世かなと思すに、 **C** けり。

(注) 1 見るに心は慰まで——「女郎花見るに心は慰までいとど昔の秋ぞ恋しき」(伊勢集・七九)による。

2 かばかりのほど——この時、姫君は数え年四歳。

3 かく——この姫君が自分の子であることを表す。

4 いとど昔の秋恋しう——(注)1の歌を踏まえ、最後に飛鳥井の女君に逢った秋への思慕・旧懐を表す。

問一

空欄

A

に入る最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は18。

1 ところ

2 ゆくへ

3 けしき

4 ながめ

5 かたみ

問二

空欄

B

に入る最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は19。

1 をかしき

2 あやしき

3 いとほしき

4 つれなき

5 かなしき

問三

傍線部(ア)

「な恥ぢたまひそよ」、(イ)「ふとはえ聞こえにくげなる御ありさま」の現代語訳として最も適当なものを、次のなかからそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークせよ。解答番号は、(ア)は20、(イ)は21。

1 恥ずかしそうになさるのは当然ですよ

2 恥ずかしそうになさらないでくださいよ

3 恥ずかしがりなさるにも程がありますよ

4 名を恥じたりなさらない方がよいですよ

5 名の恥はお隠しになった方がよいですよ

(ア)

- (イ)
- | | | | | |
|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 少しも聞き入れてくれそうにないご様子 | とっさには申しあげられそうにないご様子 | さりげなく申しあげてみたくなるご様子 | 突然うわさを耳にして理解できないご様子 | いきなり申しあげると憎まれそうにご様子 |

問四 傍線部①「なしつる」の文法的説明として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号

は22。

- 1 形容詞終止形＋助動詞連体形
- 2 形容詞連用形＋助動詞未然形＋助動詞連体形
- 3 動詞連用形＋助動詞未然形＋助動詞連体形
- 4 動詞連体形＋助動詞未然形＋助動詞連体形
- 5 動詞連用形＋助動詞連体形

問五 傍線部②「あさましきまで写し取りたまへる」と同じ内容を表している箇所を、本文中からそのまま抜き出し、九字で記せ。

問六 空欄 C には形容詞「口惜し」が入る。接続を考慮に入れ、最も適当な形に活用させて記せ。

問七 傍線部③「蔭の小草にしも生ひ初めけむよ」は、歌人である伊勢の歌の「深山木みやまぎの蔭の小草は我なれや露しげけれど知る

人もなし」(新勅撰集・七二三)によった表現である。傍線部③の説明として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は23。

- 1 姫君が、生い茂る草のように繁栄する家の子であることに気づいた喜びを表している。
- 2 姫君が、尊い家の子であることを隠し養育されている事実を知った驚きを表している。
- 3 姫君が、素性の確かでない飛鳥井の子として生まれた寄るべなさへの嘆きを表している。
- 4 姫君が、狭衣の子であることを隠しひっそりと育てられていることへの憂いを表している。
- 5 姫君が、深山の陰に育つ小草のようにはかなく貧相な様であることへの愁いをしてしている。

問八 本文の内容と最も合致するものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は24。

- 1 狭衣は一品の宮との結婚生活に満足しつつも、出世が叶わぬ現実を悔しく思った。
- 2 狭衣は一品の宮の美しさに魅了されつつも、出自の低さや品位のなさに落胆した。
- 3 狭衣はわが子にめぐりあい慰められつつも、みずからの宿命を無念に思った。
- 4 姫君は狭衣になつてはいるものの、実の母が恋しくて夜になると泣き出した。
- 5 一品の宮は日頃の狭衣の言動を通して、飛鳥井の姫君の出自を察知していた。

問九 『狭衣物語』と異なるジャンルの作品を、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は25。

- 1 伊勢物語
- 2 源氏物語
- 3 大和物語
- 4 落窪物語
- 5 平家物語

〔四〕

次の文章は唐代の美術批評家・張彦遠が書画コレクションについて述べたものである。これを読み、あとの設問に答えよ。ただし、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

夫識書人多識画。自古蓄聚宝玩之家固亦多矣。則有收藏而

未能鑑識。鑑識而不善閱玩者、閱玩而不能装丁、装丁而殊亡

銓次者。此皆好事者之病也。貞觀・開元之代、自古盛時。天子

神聖而多才、士人精博而好芸。購求至宝、歸之如雲。故内

府、圖書謂之大備。

又有從來、蓄聚之家、自号圖書之府。蓄聚既多、必有佳者。

妍蚩渾雜、亦在詮量。是故非其人、雖近代亦朽蠹、得其地、則

遠古亦完全。其有晋宋名跡、煥然如新、已歷數百年、紙素彩

色未甚敗。何故。開元・天寶間縱跡、或已耗散。良由宝之不

其^ノ地^ヲ也。 画^ハ 歳^ニ 月^{シク} 既^ニ 久^{シク} 耗^シ 散^シ 将^レ 尽^{キムト} 名^ノ 人^ハ 芸^ハ 士^ハ 不^ニ 復^タ 更^ニ 生^{マレ} 可^⑩ 不^レ 惜^カ 哉。

〔歴代名画記〕

(注) 1 銓次―配列。

2 好事者―マニア。

3 貞観・開元―いずれも唐代の元号。

4 士人―知識人。

5 妍蚩―良い作品と良くない作品。

6 朽蠹―朽ちたり害虫に食われたりすること。

7 晋宋―唐に先立つ魏晋南北朝時代の王朝名。

8 天宝―唐代の元号。

問一 傍線部①「夫」の読みとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は②。

1 をとこ

2 をつと

3 それ

4 その

5 かな

問二 傍線部②、④、⑥「目」の読みの組み合わせとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。

解答番号は27。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | ② | みづから | ④ | より | ⑥ | より |
| 2 | ② | より | ④ | おのづから | ⑥ | より |
| 3 | ② | おのづから | ④ | みづから | ⑥ | おのづから |
| 4 | ② | より | ④ | より | ⑥ | みづから |
| 5 | ② | より | ④ | おのづから | ⑥ | みづから |

問三 傍線部③「好事者之病」に挙げられていないものとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。

よ。解答番号は28。

- 1 鑑定はできるが作品を楽しむことができない。
- 2 装丁をする際に配列を間違えてしまう。
- 3 所蔵しているが正しく鑑定できない。
- 4 作品を楽しむことはできるが正しく装丁できない。
- 5 作品を好むあまり金に糸目をつけず購入する。

問四 傍線部⑤「如_レ雲」が形容している状態として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は29。

- 1 多く集まってきたさま
- 2 ぼやけているさま
- 3 流動的であるさま
- 4 いろいろなものが混ざっているさま
- 5 値段が高いさま

問五 傍線部⑦「非其人」の現代語訳として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は

30。

- 1 描いた本人でなければ
- 2 正しく扱える人でなければ
- 3 天子でなければ
- 4 その人間ではないので
- 5 最近まで生きていた人でなければ

問六 傍線部⑧「煥然」の「然」と同じ意味で「然」が用いられている表現として最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は31。

- 1 無為自然
- 2 天然素材
- 3 茫然自失
- 4 未然防止
- 5 本然之性

問七 傍線部⑨「良」の読みとして最も適当なものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑬。

- 1 ながくも
- 2 よろしく
- 3 やや
- 4 はなはだ
- 5 まことに

問八 傍線部⑩「可不惜哉」をひらがなのみで書き下し文にせよ。

問九 本文の内容と最も合致するものを、次のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑭。

- 1 書画作品は、どう扱ってもすぐいたんでしまう。
- 2 書画作品の価値は、作品の出来よりも保存状態で決まる。
- 3 書画作品は、適切に扱えばそれほどいたまない。
- 4 書画作品は、少しいたんでいる方が古めかしくて好ましい。
- 5 書画作品を集めるのは、無駄なことである。